

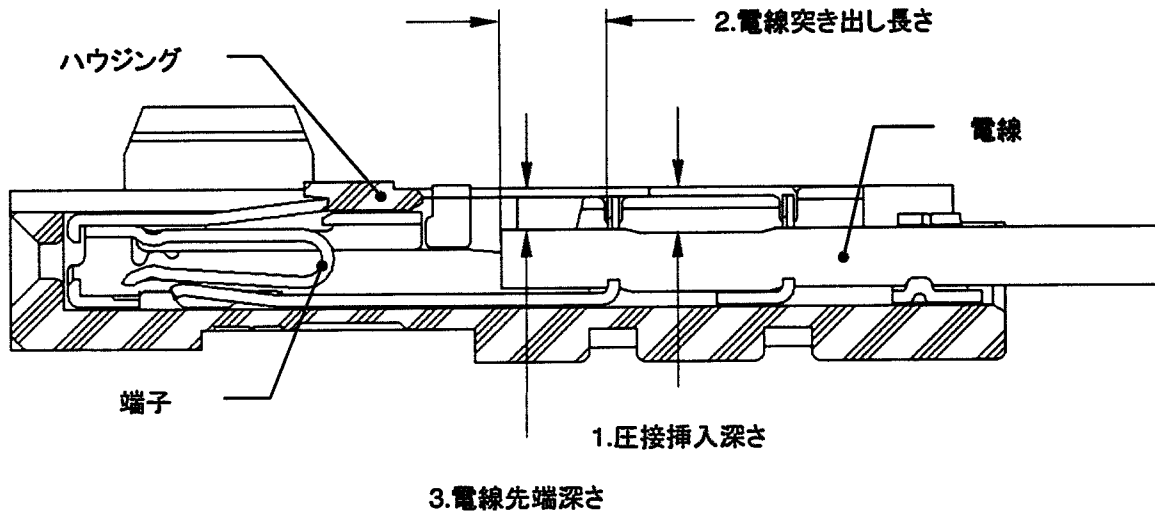
該当製品の性能は、AMP アプリケーション又は AMP が認めたアプリケーションツールで
作成された場合のみ保証されます。

1. 適用範囲

本規格は、.025 IDC コネクタの圧接条件について規定する。

2. 部品各部名称及び製品型番

2.1 各部の名称



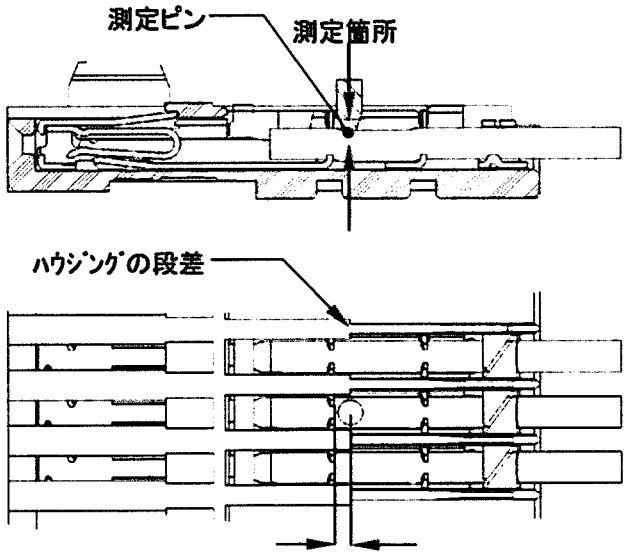
2.2 製品型番

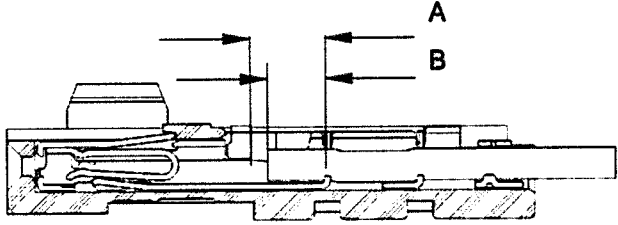
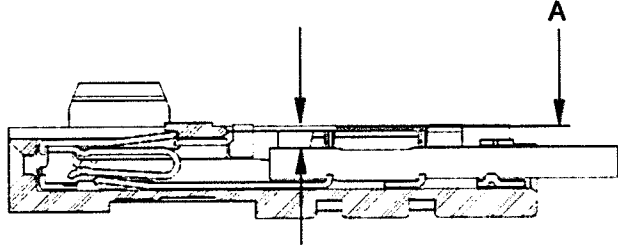


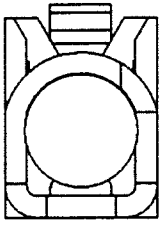
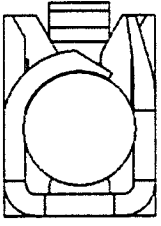
名称	製品型番*	適用電線
8 極 メス アッセンブリ	1318690	IDCUS,CAVUS, MCVUS 0.3~0.5mm ²
20 極 メス アッセンブリ	1318691	

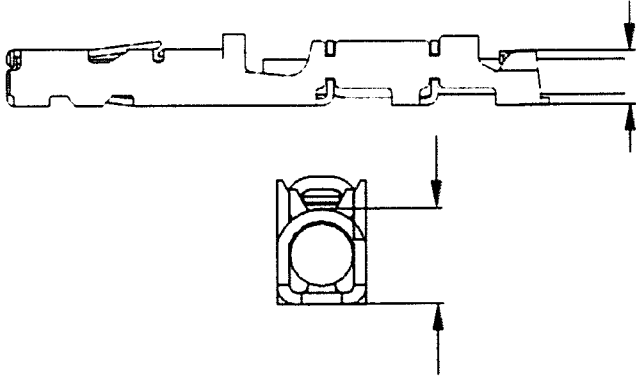
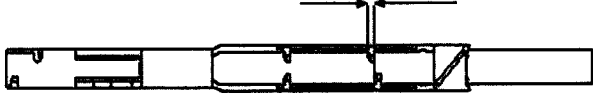
*注記 : 型番(パーツナンバー)は、リスト中の親番号にダッシュ付きの1桁の数字をもって構成
されます。各親番号に対するダッシュ付き型番の詳細は顧客用図面またはカタログを
参照下さい。なお、接頭の数字がゼロの場合は、ゼロ及びダッシュは省略されます。

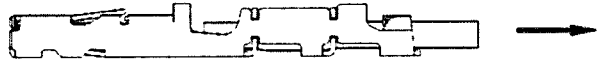
3.圧接条件及び判定基準

注：圧接ツールについては、当社にお問い合わせ下さい。

No.	項目	圧接条件及び判定基準
1	圧接挿入深さ	<p>ハウジング上端から電線被覆上の工具圧痕部までの寸法は $0.7^{+0.3}_0$mm</p>  <p>位置：ハウジングの段差にて測定を行なう (スロットより0.7~1.1mmの範囲)</p> <p>又、端子単体での測定は、底面から $1.9^{0}_{-0.3}$mm</p> <p>注：1)測定具の先端形状は、$\phi 0.5 \sim \phi 1$mm 測定圧は、1.96N 以下</p>

No.	項目	圧接条件及び判定基準
2	電線突出し長さ	<p>コンタ外スロット部からの電線突き出し長さ B 寸法は A 寸法の半分以上あること(1.5~3.0mm)</p> 
3	電線先端深さ	<p>電線先端の被覆は A 部よりも下にある事 (ハウジング上面より 0.5mm 以上)</p> 
4	電線の芯線露出	<p>被覆がつながっている 合格</p>  <p>芯線が見えている 不良</p> 
5	電線保持状態	<p>電線はインシュレーションパレルによって包まれていること パレルで確実に包まれている パレルが片立ちしている</p>   <p style="text-align: center;">合格 不良</p>

No	項目	圧接条件及び判定基準													
6	インシュレーション パレル ハイ	<p>パレルの高さは $1.8 \pm 0.1 \text{mm}$ 但し、項目 9 の圧接部保持力を満足する事。</p> <p>(参考値)</p> <table border="1" data-bbox="751 555 1331 840"> <thead> <tr> <th>電線</th> <th>被覆外形 mm</th> <th>パレル高mm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">0.3 mm²</td> <td>φ 1.10</td> <td>$1.80^{+0.05}_{-0.10}$</td> </tr> <tr> <td>φ 1.15</td> <td>$1.85^{+0.05}_{-0.10}$</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">0.5 mm²</td> <td>φ 1.30</td> <td>$1.80^{+0.05}_{-0.10}$</td> </tr> <tr> <td>φ 1.35</td> <td>$1.85^{+0.05}_{-0.10}$</td> </tr> </tbody> </table>  <p>注)測定はノギスにて行う</p>	電線	被覆外形 mm	パレル高mm	0.3 mm ²	φ 1.10	$1.80^{+0.05}_{-0.10}$	φ 1.15	$1.85^{+0.05}_{-0.10}$	0.5 mm ²	φ 1.30	$1.80^{+0.05}_{-0.10}$	φ 1.35	$1.85^{+0.05}_{-0.10}$
電線	被覆外形 mm	パレル高mm													
0.3 mm ²	φ 1.10	$1.80^{+0.05}_{-0.10}$													
	φ 1.15	$1.85^{+0.05}_{-0.10}$													
0.5 mm ²	φ 1.30	$1.80^{+0.05}_{-0.10}$													
	φ 1.35	$1.85^{+0.05}_{-0.10}$													
7	コンタクト・スロット上端の位置	<p>圧接後、コンタクトスロット上端のスレは(0.25)板厚分まで許容する。</p> 													
8	コンタクト及びハウジングの損傷	<p>圧接後のコンタクトスロット部に、工具による損傷が有ってはならない。 但し、インシュレーションパレルの打痕、擦り傷は許容する。 (メッキの剥離は不可)</p>													

No	項目	圧接条件及び判定基準
9	圧接部保持力	<p>0.3 mm²=55N 以上 0.5 mm²=80N 以上</p> <p>測定方法 電線を真直方向に 100mm/min の速さで引張り 電線破断又は、圧接部から電線が抜け出た時の 荷重を測定する。</p> <p style="text-align: right;">真直方向</p> 
10	圧接後の端子開きについて	圧接後の端子開きは、端子挿抜作業に支障をきたさない範囲ならば許容する。
11	その他	空圧接後のコネクタは再使用してはいけない (電線を使用しないで、圧接を行なった場合インシュレーション パレルがクリップされてしまう為)

4. 適用電線

電線サイズ	素線数 (本/mm)	計算断面積(mm ²)	仕上外形(mm)	
			標準	最大
IDCUS,CAVUS,MCVUS 0.3 mm ²	7/0.26	0.37	1.1	1.2
IDCUS,CAVUS,MCVUS 0.5 mm ²	7/0.32	0.56	1.3	1.4